



## 2020年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月29日

上場会社名 ナガイレーベン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7447 URL https://www.nagaileben.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤登 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 徳江 健 TEL 03-5289-8200  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年8月期第3四半期の連結業績（2019年9月1日～2020年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	12,290	△4.9	3,440	△9.2	3,514	△8.5	2,426	△8.4
2019年8月期第3四半期	12,916	△4.2	3,786	△10.2	3,839	△10.1	2,649	△10.1

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 2,425百万円 (△6.9%) 2019年8月期第3四半期 2,605百万円 (△13.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	73.61	—
2019年8月期第3四半期	79.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	43,497	39,137	90.0
2019年8月期	44,281	39,721	89.7

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 39,137百万円 2019年8月期 39,721百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	3.7	5,167	5.1	5,242	5.0	3,605	4.6	109.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期3Q	38,236,000株	2019年8月期	38,236,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期3Q	5,376,686株	2019年8月期	4,983,157株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期3Q	32,963,726株	2019年8月期3Q	33,249,742株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2020年4月2日付け「新型コロナウイルス感染症への対応状況および影響等に関するお知らせ」にて発表しましたように、新型コロナウイルス感染症を起因とする、医療現場におけるマスク等の資材不足という社会課題に応えるため、「衣を通じて、医療の現場をサポート」「医療の現場が求める特別な機能性、感性の実現」という当社グループの強みを生かした取り組みを実施しております。

当第3四半期連結累計期間においては、当社グループが新たに開発した感染対策商品のうち、

- ・リユーズブル マスク：4万枚
- ・リユーズブル アイソレーションガウン：1万枚

を医療機関、医療関連サービス業、地方自治体等へ寄付いたしました。

また、感染するリスクと向き合いながら、医療崩壊を防ぐため最前線で闘う医療従事者の方々への感謝として、全国紙3紙に「あなたの勇気、忘れない。」と題した応援メッセージ広告を5月に掲載しました。

新型コロナウイルス感染症の終息に向けて、当社グループは「いのちの力になりたい」「環境」「社会への還元」を柱とするSDGsの取り組みを、引き続き進めて参ります。

なお、上記取り組みに関して、当初予定外の費用が発生しておりますが、業績への影響は軽微であります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. その他 .....	8
販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、政府の経済政策等により穏やかな回復基調で推移していましたが、消費税増税の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、一部企業業績にも影響が顕在化するなど、国内景気の先行きへの不透明感が増している状況にあります。

医療・介護を取り巻く環境としましては、年明け以降急激に拡大した新型コロナウイルス問題による医療崩壊が懸念される中、急性期病院から診療所に至るまですべての医療機関はその最前線での対応に追われ大きな混乱状況に陥りました。また高齢者は重症化しやすいことから高齢者介護施設においても集団感染対策に多忙を極めた状況が継続しております。

特に医療介護従事者の身体的及び精神的疲労は極限状態まで追い込まれ、医療物資不足とともに医療介護現場はこれまで経験のしたことない事態に直面いたしました。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間のメディカルウェア市場環境は、新型コロナウイルス問題の発生以降、医療介護現場の混乱を受け商品更新や納入に支障をきたした厳しい状況で推移いたしました。

当社グループ（当社及び連結子会社）は、年明けまでは前年比プラスと順調に推移していたものの、医療機関への新型コロナウイルスによる市場環境変動の影響で主力のヘルスケアウェアを中心にドクターウェアや患者ウェアに納入の遅れが発生、減収となりました。

一方、感染対策商品として急遽開発いたしましたマスクの販売が開始されるとともに医療物資不足の需要増を受け第3四半期連結会計期間のユーティリティウェアや手術ウェア及びその他分野は大幅な増収となりました。

このような結果、感染対策商品は好調に推移したものの主力商品群のマイナスをカバーし切れずに第3四半期連結累計期間の売上は4.9%の減収となりました。

当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染対策商品を新規開発・生産を開始しております。6月以降本格的に市場投入いたしますアイソレーションガウンも含め当社グループ商品はいずれの商品も繰り返し洗濯し再利用が可能なリユーズブル商品群であり、このような環境下において今後さらにその有益性が評価されるものと考えております。

売上高総利益率は、為替変動の激しい情勢にあつて、比較的優位な為替先物予約ができたものの、新型コロナウイルス関連のアイソレーションガウンの生産協力と、手術ウェア販売急増への対応のために急遽国内生産を拡大したことや、生地をはじめとする全般的な原材料の上昇や、国内での人件費上昇による原価上昇が響き、前年同期比0.7ポイントダウンの46.0%となりました。

販売費及び一般管理費は、新型コロナウイルス感染対策の社会貢献活動の一環としてマスク、アイソレーションガウンの医療機関等への寄付による費用が発生したものの、前年同期に発生した役員退職慰労金制度廃止に伴う功労金発生などの一過性費用分が減少したため、前年同期比1.1%減となりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては12,290百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は3,440百万円（同9.2%減）、経常利益は3,514百万円（同8.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,426百万円（同8.4%減）を計上いたしました。

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は43,497百万円となり、前連結会計年度末に比べ783百万円減少いたしました。流動資産合計は34,339百万円となり714百万円減少し、主な要因は、現金及び預金の減少2,072百万円、電子記録債権の増加597百万円、受取手形及び売掛金の増加449百万円、たな卸資産の増加259百万円等であり、固定資産合計は9,158百万円となり、68百万円減少いたしました。その内訳として有形固定資産は7,610百万円となり156百万円減少、無形固定資産は47百万円となり15百万円増加、投資その他の資産は1,499百万円となり72百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,360百万円となり、前連結会計年度末に比べ198百万円減少いたしました。流動負債合計は3,247百万円となり246百万円減少し、主な要因は、未払法人税等の減少371百万円、支払手形及び買掛金の増加103百万円等であります。固定負債合計は1,112百万円となり、47百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は39,137百万円となり、前連結会計年度末に比べ584百万円減少いたしました。主な要因は、配当金の実施による1,995百万円の減少、自己株式の取得による1,031百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益2,426百万円の計上による増加等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の89.7%から90.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、2019年10月3日に公表しました連結業績予想数値を変更していません。販売面においては、新型コロナウイルス問題の収束に伴いヘルスケアウェアなどの遅れていた納入も順次再開され始め市場は落ち着きを取り戻しつつあるものの、感染の第二波が懸念されるなど完全な終息までにはまだ時間が要するものと考えられます。一方、感染対策商品は6月以降アイソレーションガウンなどの生産、販売が本格化され大幅な増収が期待されております。生産面においては、感染対策商品の生産比率が増加するものの、大きな影響はないと想定しておりますが、生産国における感染対策商品の輸出規制等により、影響を受ける可能性があります。本業績予想に修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,157,761	23,085,406
受取手形及び売掛金	3,547,834	3,997,287
電子記録債権	1,792,308	2,390,227
たな卸資産	4,479,844	4,739,564
その他	77,612	129,024
貸倒引当金	△1,076	△1,936
流動資産合計	35,054,285	34,339,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,816,540	2,731,081
機械装置及び運搬具（純額）	361,583	294,670
土地	4,438,249	4,434,116
建設仮勘定	8,803	—
その他（純額）	142,207	151,029
有形固定資産合計	7,767,384	7,610,898
無形固定資産	32,541	47,901
投資その他の資産		
投資有価証券	684,287	670,765
その他	746,339	830,466
貸倒引当金	△3,710	△1,801
投資その他の資産合計	1,426,916	1,499,431
固定資産合計	9,226,842	9,158,231
資産合計	44,281,128	43,497,806
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,452,437	1,555,697
未払法人税等	994,666	622,951
賞与引当金	86,207	157,673
その他	960,909	911,380
流動負債合計	3,494,220	3,247,703
固定負債		
役員退職慰労引当金	23,260	25,772
退職給付に係る負債	661,834	703,765
その他	380,072	383,210
固定負債合計	1,065,166	1,112,748
負債合計	4,559,386	4,360,452

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,925,273	1,925,273
資本剰余金	2,368,673	2,378,409
利益剰余金	40,120,937	40,552,381
自己株式	△4,896,115	△5,920,301
株主資本合計	39,518,768	38,935,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	276,505	283,266
繰延ヘッジ損益	3,722	21,328
退職給付に係る調整累計額	△77,255	△103,004
その他の包括利益累計額合計	202,972	201,590
純資産合計	39,721,741	39,137,354
負債純資産合計	44,281,128	43,497,806

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年9月1日 至 2019年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年9月1日 至 2020年5月31日）
売上高	12,916,747	12,290,081
売上原価	6,889,335	6,634,722
売上総利益	6,027,411	5,655,359
販売費及び一般管理費	2,240,439	2,215,269
営業利益	3,786,972	3,440,090
営業外収益		
受取利息	2,154	2,276
受取配当金	7,312	7,018
受取賃貸料	62,977	63,777
為替差益	—	6,648
雑収入	9,006	19,370
営業外収益合計	81,449	99,090
営業外費用		
固定資産賃貸費用	24,689	24,313
為替差損	3,912	—
雑損失	258	224
営業外費用合計	28,860	24,537
経常利益	3,839,561	3,514,643
特別利益		
固定資産売却益	1,340	—
投資有価証券売却益	—	11,278
特別利益合計	1,340	11,278
特別損失		
固定資産除売却損	4,032	11,300
特別損失合計	4,032	11,300
税金等調整前四半期純利益	3,836,869	3,514,621
法人税、住民税及び事業税	1,286,032	1,169,858
法人税等調整額	△98,570	△81,852
法人税等合計	1,187,461	1,088,006
四半期純利益	2,649,407	2,426,615
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,649,407	2,426,615



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	2,649,407	2,426,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,330	6,760
繰延ヘッジ損益	△12,284	17,606
退職給付に係る調整額	11,157	△25,748
その他の包括利益合計	△43,457	△1,381
四半期包括利益	2,605,950	2,425,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,605,950	2,425,233

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得及び処分)

当社は、2019年11月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式400,000株の取得を行い、自己株式が1,031,200千円増加いたしました。また、譲渡制限付株式報酬による自己株式の処分により自己株式が7,210千円減少いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が5,920,301千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 3. その他

販売の状況

販売実績

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、品目別情報を記載しております。

品目別	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	前年同四半期比 (%)
メディカルウェア (千円)	12,181,849	95.3
(ヘルスケアウェア)	(6,804,355)	(91.4)
(ドクターウェア)	(1,929,150)	(92.3)
(ユーティリティウェア)	(364,916)	(104.1)
(患者ウェア)	(1,521,845)	(98.6)
(手術ウェア)	(1,269,678)	(109.0)
(その他)	(291,901)	(160.9)
シューズ (千円)	108,232	78.6
合計 (千円)	12,290,081	95.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。